

はじめに

2022年度は、新型コロナウイルス感染症の流行が落ち着きを見せるなか、少しずつ対面実施の事業や調査を再開するとともに、リモートで実施可能な取り組みも新しく始めることができました。ご協力くださった関係者のみなさまに厚くお礼申し上げます。

本誌第Ⅰ部は当センター研究員、大谷尚先生の調査報告です。2022年9月に開催された、米国における大学進学の特許職団体 NACAC(National Association for College Admission Counseling) のカンファレンスについて、具体的なプログラム内容を含む詳細な紹介がなされており、米国の大学入学者選抜の動向を知ることができます。

第Ⅱ部には、座談会シリーズ「テストと入試をめぐる座談・快談」第1回の要約を掲載しました。この座談会では「米国の大学入学者選抜との対照を通して検討する日本の大学入学者選抜の特性・問題・課題」をテーマに大谷尚先生が話題提供をし、同じく当センター研究員の大塚雄作先生、村上隆先生と3名でのディスカッションが行われました。ここで得られた論点を引き継ぎ、次回につなげていきたいと考えています。

第Ⅲ部には、高校生を対象として夏休み期間中に毎年開催している「学びの杜・学術コース」の講義をひとつ、テープ起こし・再構成して掲載しました。講師の根本二郎先生の熱心で親しみやすい語り、受講生たちがいきいきと学ぶ様子とを感じ取っていただけたと思います。

2023年度も引き続き、高大接続研究にいっそう貢献できるセンターとして発展させていきたいと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。

高大接続研究センター長
教育発達科学研究科副研究科長・教授
柴田好章